



## 施工担当者様へ つづき

**⚠ 注意** 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



必ず実施

- 屋内の適正温度（5℃～35℃）で使用する  
屋外や高温で使用すると、故障や短寿命の原因になります。



禁止

- 高温の場所、直射日光の当たる場所には取り付けない  
劣化・腐食・落下の原因になります。
- 雨水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けない  
水滴や湿気により絶縁不良になり、漏電・感電の原因になります。
- 酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない  
腐食や落下の原因になります。



禁止

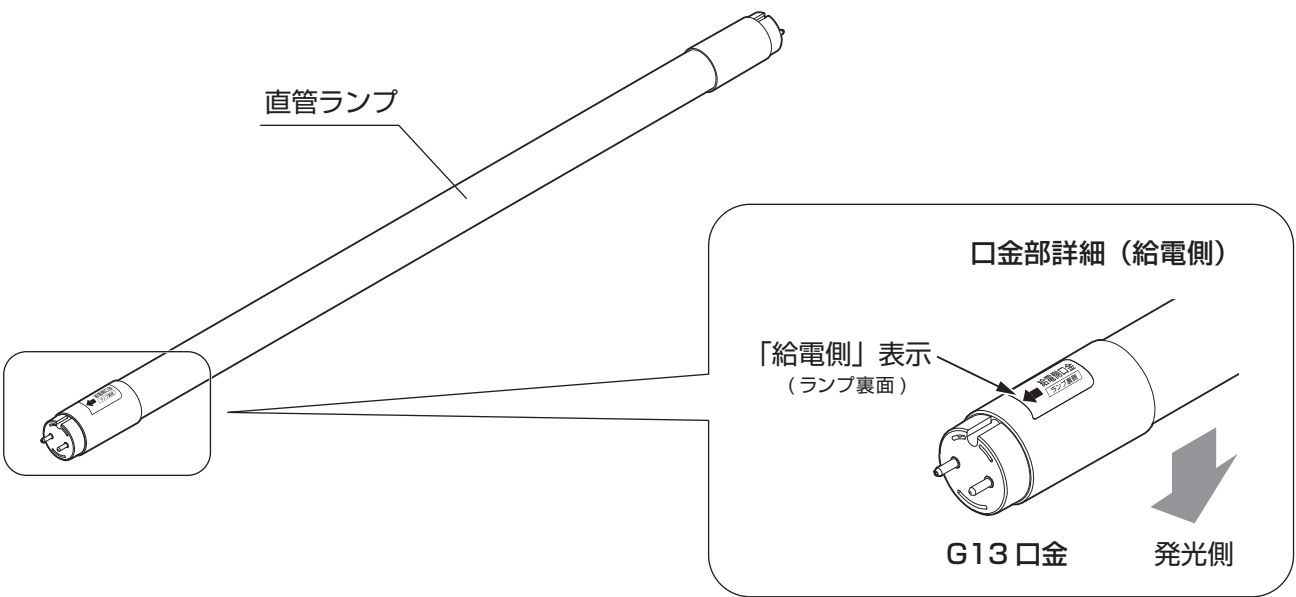
- 振動・衝撃のある場所には取り付けない  
落下・破損の原因になります。

## その他の注意 設置や取り扱いについての注意です。

- 硫黄成分がある場所には取り付けないでください。メッキ工場などのように硫黄成分を含むガス・蒸気・液体にさらされるおそれがある場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
- 電源方式により騒音（うなり）が大きくなる場合がありますので、以下の配線を行ってください。
  - ・三相電源を使用する場合は、必ず接地側を器具の端子台のN側に接続してください。
  - ・電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合は、必ず非接地側（充電側）に取り付けてください。
- 点灯スイッチは、必ず非接地側（電圧側）に取り付けてください。接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。（接地極のない電源では両切りスイッチを使用してください。）
- 調光器（ライトコントロール）は使用できません。故障や短寿命の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模様やちらつきが見える場合があります。

## 各部の名称

- 形状は実物と異なることがあります。
- 表記以外の部材は梱包材です。

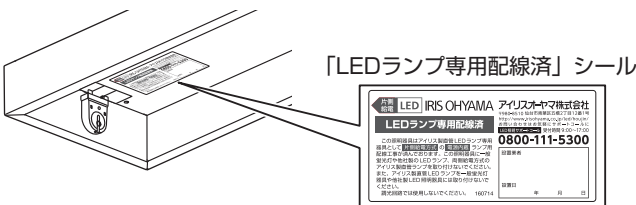
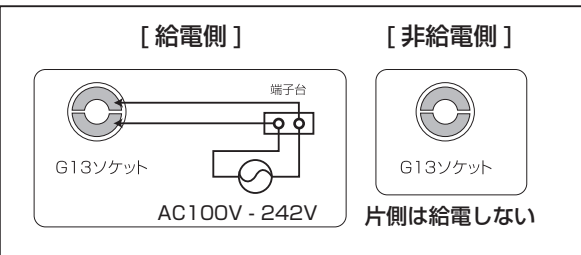


## 取り付けかた（施工担当者様）

### 1 ソケット配線を片側給電仕様へ変更工事を行う

下記配線図の通りに変更工事を行ってください。  
工事完了後器具の反射板に「LEDランプ専用配線済」シールを図の位置に貼ってください。

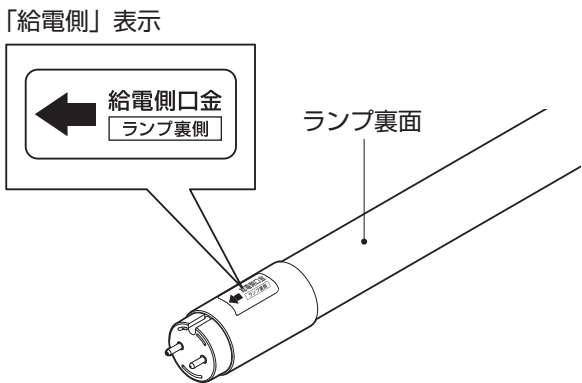
配線概要図 ※間引き点灯の場合は分岐回路を設け、必ず非接地側の個別スイッチで消灯してください。



注意

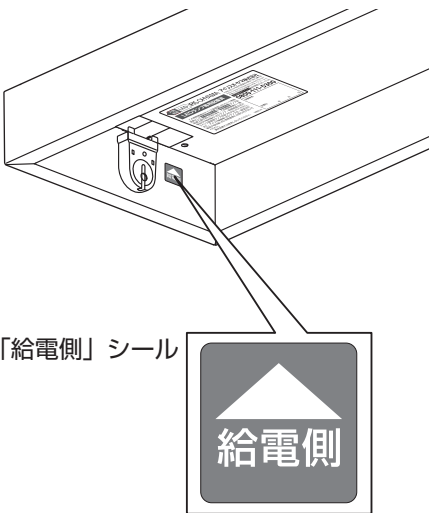
安全のため、既存の照明器具を使用する場合は、そのまま使用が可能なかを判断してから、変更工事を行ってください。

### 3 本直管LEDランプの「給電側」表示（ランプ裏面）を確認する



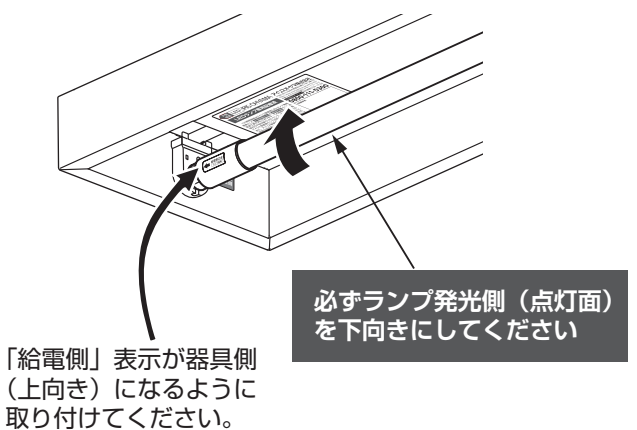
### 2 給電側のソケット付近に「給電側」表示を貼る

器具反射板の図の位置に「給電側」シールを図の位置に貼ってください。



### 4 ランプの「給電側」表示を、器具の「給電側」に合わせて取り付ける

ソケットに確実に取り付けてください。ランプの発光側を必ず下向きにしてください。



注意

ランプの給電側を逆に取り付けると点灯しません。必ず給電側表示位置を確認してください。